

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ことばの教室ことのは4号館Jr.				公表日	令和 8年 4月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・ 児童のケガがないよう防止対策（コーナーマット・発砲ポリエチレン等）を行っています。	引き続き利用定員に沿った配置基準+aの支援室スペースで適切な療育を提供して努めます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0		引き続き利用定員に沿った配置基準+aの職員配置で適切な療育を提供していければと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・ 安全面に配慮した工夫をしています。	「部屋の割り方や環境整備が必要などころがある」という意見が出ましたので、今後個別療育など必要に応じてパーテーションなど活用していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・ 状況に応じて、職員と話し合い、環境を整えています。	食リスクのある児童もいる為玩具等の管理をより一層徹底し清潔にしている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・ 児童がクールダウンできる個室が欲しいです。	「児童がクールダウンできる個室が欲しい」という意見が出ましたので、今後個別療育など必要に応じてパーテーションなど活用していければと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・ 朝礼・昼礼・終礼にわけて、情報共有を行っています。	毎日3回職員全体での情報共有に努めています。担当する業務を各チームでPDCAサイクルに沿って話し合い実行しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		保護者向けの評価表にて保護者の意向にそって業務改善につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		昼礼・終礼で全体の中で意見する機会を設けており、また毎月管理者により個人面談の機会を設けています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0		第三者評価は受けていないが、必要に応じて活用していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0		法人内にて毎月情報共有会議の実施があり、必要に応じて各職員が研修や講習を受ける機会が確保されています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0		法人内で統一した支援プログラムを事業所内に公表し、契約時保護者に配布しています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0		契約時にアセスメントシートにてニーズや課題の把握をしています。療育の中で多職種で評価し計画書の作成をしています。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		計画書作成の際は事前に担当支援者の記録や発言を聴取したり、昼礼にて職員全体で評価や支援内容について話し合う場を設けています。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・ ファイルに綴り、スタッフ全員が見れるようになっています。	計画書はファイルにて厳重管理し、支援者が療育に必要な情報を把握できるようにしている。配慮事項がある場合は昼礼にて全体周知をしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1		「統一したフォーマルなアセスメントがないのであるとより客観的な評価につながると感じる」という意見が出ましたが契約時にアセスメントシート、KIDS乳幼児発達スケール検査を用いているため職員間での周知に努めます。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		設定しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1		5領域に沿って児童個々に合わせて個別療育、集団療育が適切かチームで相談し柔軟に活動プログラムを設定しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・役割を決めたり、話し合いを行っています。	・知育玩具の新調や戸外活動を活用し工夫しています。 ・季節に合わせた行事の企画をしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		5領域に沿って児童個々に合わせて個別療育、集団療育が適切かチームで相談し柔軟に活動プログラムを設定しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・注意しないといけない児童には、全体で共有して場面や状況に応じた声掛けを行っています。	朝礼・昼礼にて留意事項のある児童を再度全体周知しリスク管理に努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		本事業所が午前午後の2部制のため毎日昼礼終礼を実施し情報共有に努めています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		療育毎に支援内容や様子記録し職員間で情報共有をしています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1		定期的にモニタリングの参加、計画書の見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		各児童の担当職員が会議に参加する様つとめており、日ごろから職員全体で児童の情報共有や把握を行っています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		モニタリングや担当者会議を通して他機関と情報共有や連携をしています。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		モニタリングや担当者会議を通して他機関、他事業所と情報共有や連携をしています。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0		令和7年度開所の為、対象児童がいません。今後必要に応じて行っていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				/
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		地域の行事やイベント、公園や園庭開放等で活動する機会があります。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		療育終了後に対面やメッセージアプリにて療育内容や児童の様子を共有したり、保護者から自宅や学校での様子や相談を受けています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		定期的に勉強会を実施しています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0		契約時に管理者、児童発達支援管理責任者から説明を実施し、支援プログラム掲示しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		アセスメントシートをもとにニーズや課題の把握をしています。モニタリングや日々の情報共有の中で意向確認しています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		児童発達支援管理責任者が保護者へ説明しています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		保護者から要望があった際は対応しています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	1	・保護者研修を通して、保護者同士の交流を図っています。	保護者向けの勉強会を実施しています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		保護者から要望があった際、対応に努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		行事の開催後は入り口にて活動の様子を掲載しています。また法人ホームページブログにて活動の様子を発信しています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		個人情報がかっているファイルは施錠可能な棚で管理しており、外部から児童の名前が見えないよう工夫しています。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		配慮しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3		開所間もないため行事開催に当たって地域住民の招待は実現できていませんが、今後要望に応じて検討しています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		各マニュアル作成し事業所内に掲載しています。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		法人内で定められた策定に沿った各マニュアル作成し事業所内に掲載しています。避難訓練の実施をしています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		アセスメントシートにて既往歴の確認を行っています。日々の申し送りで児童の体調確認を行っています。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・小麦などを含む粘土を使用しないようにしています。 ・食事提供のないため食べ物を出す機会がないです。	医師ではなく、契約時にアセスメントシートや口頭でのアレルギー有無を保護者と確認しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		安全計画にあたる一連のマニュアルを作成し定期的に訓練、更新しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		事業所内の設備管理を日々行い、安全確保や環境整備に努めています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		ヒヤリハット作成後は職員全体で確認する事で再発防止に努めています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		虐待防止の資料を事業所内に掲示しています。個別支援計画書に記載、保護者に説明、同意をもらっています。

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		虐待防止の資料を事業所内に掲示していません。 個別支援計画書に記載、保護者に説明、同意をもらっています。
----	--	---	---	--	---